

交流の広場(ボラ連交流部会企画)に参加

昭利区ボランティア連絡協議会(会長 28 期 滝川 黒尾純一)は、現在、昭利鯨城会をはじめ 20 団体で組織され、毎月、役員会や交流部会等が催されています。

令和 7 年1月 24 日(土) の午後、昭利区ボラ連の行事である「交流の広場」が昭利区社会福祉協議会で開催され、各種団体の代表者約 50 名が集まり、昭利鯨城会からも高島善行会長をはじめ4名が参加しました。

桜花学園高等学校インターアクトクラブの皆さんによる司会進行のもと、初めに、同校 9 名の彼女たちによる手話ダンスや風船を使ったバルーンアートなどが披露されました。

続いて、片岡晴彦ボランティア委員長による空中を舞っている? コインのキャッチ、金属リングの通過すり抜け、そして観客が引いたトラップカード当てマジックなどが 10 分にわたって披露され、大いに昭利鯨城会をPRしました。

グループ発表会では、各種団体の代表者から活動状況等が報告され、高島会長から「遊びの広場」「区民まつり」における土鈴づくりや、清掃などの活動が報告されました。

交流会では 6 グループに分かれて、各団体の紹介や今後取り組んでいきたい活動等が報告され、桜花学園の彼女たちからは「土日、祝日に慰問に出かけて喜んでいただけるといつもやりがいを感じます」などと報告があり、私も今日行くところ、今日用事があると自ずと身体を動かすことができ、認知症の予防にもなっているのでありがたいと発表し、開会まであっという間の 2 時間半でした



桜花学園インターアクトクラブ



昭利鯨城会 マジックショー



グループ交流会